

# 『アメリカの政党政治』

岡山 裕  
(中公新書 268ページ)

220781181 水野伶皇

# 序章：本書の構成

1章：アメリカ革命～1820年代の政党

2章：政党政治の本格化

3章：19世紀のアメリカ史

4章：戦後～1970年代の政党

5章：1980年代～オバマ政権



# 1章：反政党の時代 (アメリカ革命～1820年代)

## a) 現代のアメリカ

政党間の競争が政治のあるべき姿だという認識が浸透  
→大統領選挙の時には授業で模擬選挙を実施

## b) 18世紀後半のアメリカ

党派は「利益が1番」の集団  
→国民は忌避



# 憲法制定会議の対立

a) 新国家のあり方について2つの考え方が衝突

ア) 1つは連邦政府が新国家の中核

連邦政府に国家の中央政府並みの権限を付与

イ) もう1つは州やその下の地方ごとの政治を重視

大規模では共和制の維持は不可という考え



利害と理念により両社の対立はさらに激化

# 合衆国憲法案の対立

合衆国憲法は様々な考え方の妥協の産物

しかし、**強い連邦政府**が実現

対立は憲法制定会議終了後、各邦に波及

a) 反対派の批判理由

ア) 合衆国憲法案に権利章典の内容が欠如

権利章典

→信教の自由など政府が人々に保障すべき権利



## 2章：政党政治の本格化

2つの問題が登場

a) 1つ目は銀行戦争

第二合衆国銀行が免許を前倒し申請→免許失効  
連邦準備制度の導入まで中央銀行不在

b) 2つ目は無効危機

アメリカの高関税に対してヨーロッパも高関税  
サウスカロライナ州はこれを危惧

# 無効危機

## a) サウスカロライナ州の対応

連邦法の州内効力保持→州内の同意が必要と主張  
さらに連邦の出方によっては連邦を離脱

## b) 対応策

妥協的な関税法を制定

内容：関税を段階的に低下

これをサウスカロライナ州が容認



# 奴隸制をめぐる対立

a) 北部は奴隸制に反対

革命により人々の平等意識が上昇

b) 南部では奴隸が必要

理由：一次産品の需要が増加

人口に対する奴隸の考え方にも相違

→奴隸1人を5分の3人にし、解決



# 3章：19世紀のアメリカ史

19世紀のアメリカ史は南北戦争を境に大きく区分

a) 戦後は長期の経済成長期

政治的には政府の関与に否定的な雰囲気

南北戦争は政党政治にも強い影響

共和党は目的を達成、目標を損失、停滞



政党制の再編の可能性あり

# 民主・共和の2大政党

民主・共和に2大政党は21世紀まで地位を維持

a) 1つ目の理由

2大政党が様々な考え方の地域政党組織の連合体



特定の政策方針は不必要性

b) 2つ目の理由

新党の挑戦などに対応可能な党勢を保持

# 2大政党が全国規模で拮抗

a) 州の数が多い北部は共和党

連邦議会上院が多数派、大統領選挙で有利

b) 南部は民主党が独占

連邦議会下院が過半数

移民の流入は民主党に有利だったが共和党も対応

→19世紀末まで2回だけ民主党大統領選挙に勝利

## 4章：戦後～1970年代のアメリカ

戦後の半世紀の政党政治は前半後半で対照的

a) 前半は「リベラリズム」の影響拡大

リベラリズムは個人の自由と多様な価値観を尊重

人種や性別などの差別にも影響

b) 後半は「リベラリズム」の政策に限界

共和党の主導権→リベラリズムに反対の勢力

北部ではリベラルが圧倒的に優勢



南部はリベラルに反対

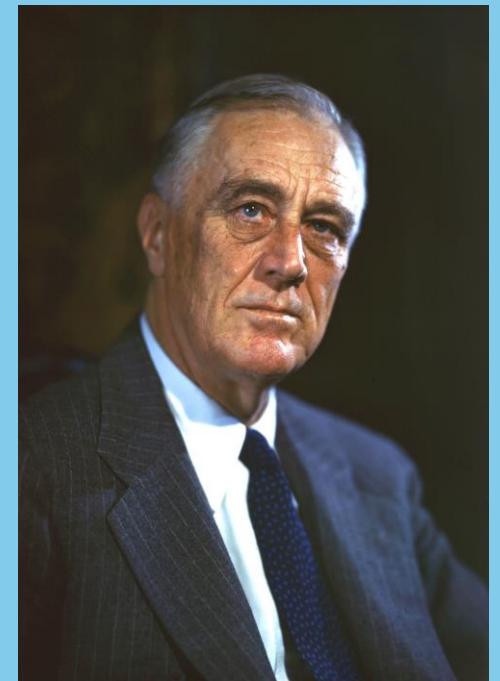
連邦議会ではリベラルな内容の法案を修正、廃案

これにより名前は「保守連合」

しかし、委員長職の多くは南部の民主党議員

ローズヴェルトは党内での南部の影響力を抑制

→南部の抵抗は困難



# 議会内の分極化

共和党が保守、民主党がリベラルという形で分極化

理由：根本的にはアメリカの政党の構造的特徴が原因

政党政治家は支援団体に大きく影響

多数の組織がリベラル、保守という2つの方向に移動



これが分極化の重要な一因

## 5章：1980年代～オバマ政権期



1980年の大統領選挙で共和党のレーガンの勝利

→国民の印象：保守派が政策論で優位な時代の到来

レーガン政権期(1981～1989)には党派対立が激化

アメリカの法律家→リベラルが多数

そこでレーガンは保守派を下級裁判所の裁判官に任命

この人事の承認過程で党派対立が激化

# オバマ政権(2009～2017)

新人上院銀のバラク・オバマが大統領選で勝利

史上初の黒人大統領

大統領就任時の支持率：7割弱

オバマの献金は7億4千万ドル→驚異的な金額

オバマの主張

党派やイデオロギーに不関係な協力が必須



# 政府の外の 2 つの変化

## a) 政党外の組織の増加

選挙戦に多額の献金の利用不可

→ 様々な活動実行組織を新たに設立

## b) 政党の支持者も分極化

保守寄りの有権者：共和党を支持

リベラルよりの有権者：民主党を支持

## 終わりに：結論

アメリカの政党の分極化：端的に解決は困難

両党の拮抗：人口動態の変化で軽減

これらのことから二大政党の分極化と拮抗



アメリカの政治において歴史的な意義を保持